

都市工学科

Urban Engineering



土木と建築の基礎を学べる学科。都市の
基盤整備や住宅建設など、災害に強く、配
慮した、安全で安らぎのある「まちづくり
ができる技術の習得とこれからの「社会
を支える人づくり」を目指します。



神戸市立科学技術高等学校

Kobe Municipal High School of Science and Technology

◆進路の特徴

大学・専門学校へ進学（土木系、建築系学科など）

就職（土木・建築現場の施工管理、鉄道保線、土木・建築系公務員など）

◆教育内容の特徴

1年は建築・土木の基礎を幅広く学び、2年より建築と土木に分かれて専門的な学習をします

◆他校の同類学科との違い

建築と土木について両方学ぶことができます

◆特色ある科目

都市工学…建築・土木両方の基礎的な知識を学びます

進路探究…都市工学科独自の取組みとして2年生で国・県・市や建設関連企業から建設業界に関する最新事情や建設技術者の魅力について学び、インターンシップに参加する。

都市製図（卒業設計）…実際の土地に、幼稚園・図書館・美術館などを自分で計画・設計・製図・模型作成をします

都市防災…全国の高等学校で初めての「防災士養成認定校」として、都市工学科が中心となり、防災士養成のための学校設定科目として開講しています この授業を選択・履修することで防災士の受験資格を得られます

◆卒業を目指す生徒像

将来、建設業においてリーダーシップを発揮し、主体的・積極的に行動できる技術者

◆在学中に受験できる資格

2級建築施工管理技術検定（学科試験のみ・原則、建築選択者受験）

2級土木施工管理技術検定（学科試験のみ・原則、土木選択者受験）

※在学中に上記の検定に合格した者は、卒業後3年以上の実務経験及び実地試験を経て、国家資格である施工管理技士の資格を得ることができる

測量士補（原則、土木選択者）

防災士 ※但し、在学中に必要な科目を選択し、修得することが条件

計算技術検定（3級は全員受検・2級以上は希望者受検）

パソコン利用技術検定（3級は全員受検・2級以上は希望者受検）

測量技術検定（2級は全員受検・1級は土木選択者受検）

[以下、希望者受検]

福祉住環境コーディネータ

カラーコーディネータ

建築CAD検定

初級CAD検定

トレース技能検定

危険物取扱者試験

火薬類取扱保安責任者試験

◆卒業とともに得られる資格

2級建築士受験資格

※但し、在学中に必要な科目を選択し、修得することが条件（建築選択者対象）

◆取得を目指す国家資格

2級建築施工管理技士・実地試験受験資格（実務経験3年以上必要・原則、建築選択者）

2級土木施工管理技士・実地試験受験資格（実務経験3年以上必要・原則、土木選択者）

測量士

◆教育目標

『社会を支える人づくり』

都市工学科の生徒としての自覚を持ち、様々な社会の状況や人間関係に対応できる能力を育む
(まず「人」として、「高校生」として、そして「社会人」へ向け強く生きる力を育てる)

<高校生活で身につける力>

- ◎人間性(素直さ、思いやり、公共心、倫理観、基礎的なマナー、あいさつ)
- ◎基本的な生活習慣(決められたこと、身の周りのことなど**自己管理能力**を育む)
- ◎基礎学力と専門的知識(企業や大学が求めるのは、**基礎・基本**が定着している若者)
- ◎コミュニケーション能力(聴く・話す・**他者を理解し尊重する力**)

★今の自分の言動や外面の全てが、自分の人格や生き方の反映である★

<高校生活で常に実践すること>

『考動』できる高校生に！

その時その場で、どのような行動が適切か、自分で考え・決めて(判断)・実行(行動)する。

○考える判断基準

「自分のためにもなり、人(集団)のためになる行動」

- ・科やクラスでの役割を自覚し、「協調性とリーダーシップ」を身に付けよう。
- ・周囲を観察し、積極的に「場面に応じた行動」を心がけよう。

○全てに必要な要素であり、人間関係を構築し、仕事を円滑に進める秘訣

※企業・社会が高校生に最も要求する能力！

「コミュニケーション(聴く・話す・他者を理解し尊重する)力」

- ・考えを伝える力、意味を考えて聴く力、意思の疎通、周囲との連携など

<都市工学科3本柱>

○希望進路の実現と社会での成功

夢と希望と熱意を持ち、目標を定め、日々の授業・学ぶ機会を大切にす。

○資格取得

より多くの資格取得に取り組み、自分の能力(付加価値)をアップする。

○都市工学科としての誇りを持つ

企業・組織で重要な「**帰属意識**」を育てる。科集会や行事への真剣な取り組み。

※社会ではほとんどが縦のつながりになる。先輩後輩の関係や絆を深める。

<科学技術高校 共通の取り組み>

○6S活動の“習慣化”

「整理・整頓・清掃・清潔・躰(マナー)・Safety(安全)」⇨『習慣化』

- ・生活の基本であり、社会や企業では常識。
- ・学習環境、校内環境を整えることが夢の実現へ繋がる。

授業内容 工業科目

他校とは違い、1年次に建築、土木の基礎基本を学び、2年次に進級する前に「建築」・「土木」を選択します。
2年次からそれぞれの専門に分かれて学習していきます。
※建築コース、土木コースの人数制限はありません。

【1年生】

工業技術基礎 / 情報技術基礎 / 都市製図① / 都市工学(建築・土木)(学科設定科目)



【2年生】

建築コース

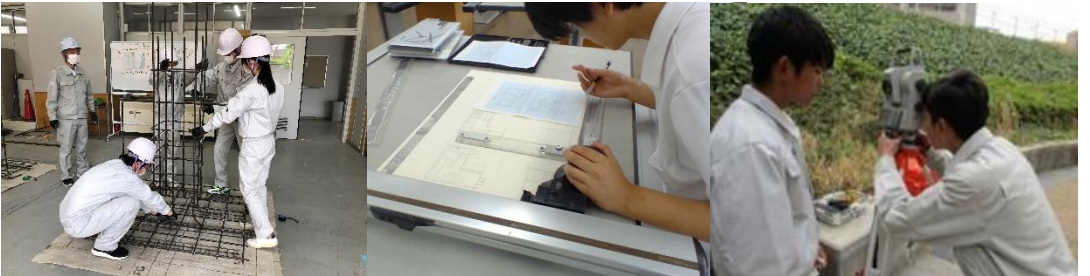
建築構造① / 建築計画① / 建築施工① / 建築構造設計① / 都市製図②

土木コース

土木施工① / 土木構造設計① / 土木基盤力学① / 測量① / 都市製図②

共通

都市実習① / 進路探究(学科設定科目)



【3年生】

建築コース

建築構造② / 建築計画② / 建築施工② / 建築構造設計② / 建築法規
都市製図③

土木コース

土木施工② / 土木構造設計② / 土木構造設計③ / 土木基盤力学② / 測量②
社会基盤工学

共通コース

都市実習② / 課題研究 / 都市防災(学校設定科目)



都市工学

時間割

工業専門科目

普通科科目

令和6年度モデル

■1年生

	月	火	水	木	金
1	工業情報数理	芸術	HR	地理総合	都市製図
2	体育		保健	言語文化	
3	物理基礎	都市工学	体育	物理基礎	体育
4	数学Ⅰ	数学Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	工業技術基礎	英語コミュニケーションⅠ
5	地理総合	英語コミュニケーションⅠ	現代国語		家庭基礎
6	都市工学	工業情報数理	数学Ⅰ		

■2年生

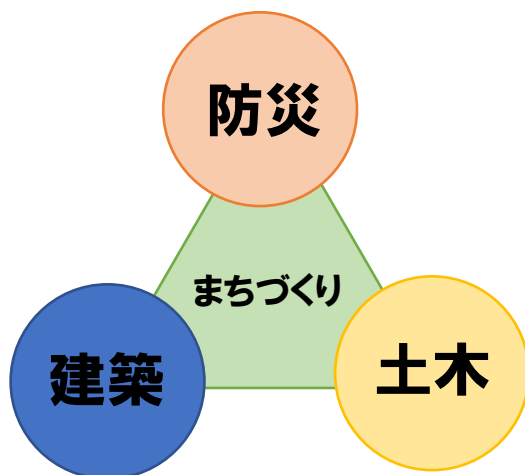
	月	火	水	木	金
1	数学Ⅱ①	土木構造設計① 建築構造①	HR	土木基礎力学① 建築計画① 数学A	科学人間
2	測量① 建築構造設計①	土木施工① 建築施工① 数学Ⅱ②	都市製図	数学Ⅱ①	現代国語
3	土木構造設計① 建築構造①	言語文化		土木施工① 建築施工① 数学Ⅱ②	保健
4	公共	科学人間	数学Ⅱ①	土木構造設計① 建築構造①	都市実習
5	進路探究	体育	英語コミュニケーションⅡ	測量① 建築構造設計①	
6	英語コミュニケーションⅡ	土木基礎力学① 建築計画① 数学A	公共	体育	

■3年生

	月	火	水	木	金
1	歴史総合	土木施工② 都市製図③	HR	体育	土木基礎力学② 建築法規 物理
2	現代文演習		数学Ⅱ② 数学Ⅲ 数学演習	数学Ⅲ 建築計画② 都市防災 土木構造設計③	現代文演習
3	英語コミュニケーションⅢ	体育	土木構造設計② 建築構造② 物理	測量② 建築構造設計② 数学Ⅲ	土木基礎力学② 建築法規 物理
4	土木基礎力学② 建築法規 物理	測量② 建築構造設計② 数学Ⅲ	課題研究	歴史総合	数学B 社会基盤工学 建築施工②
5	都市実習	数学Ⅲ 建築計画② 都市防災 土木構造設計③		土木施工② 都市製図③	数学Ⅱ② 数学Ⅲ 数学演習
6		数学B 社会基盤工学 建築施工②			英語コミュニケーションⅢ

都市工学科 目標

「社会を支える人づくり」



専門科目（工業）

◆工業技術基礎

- ・木工 ・軸組模型
- ・測量 ・コンクリート実習

◆都市製図

◆都市工学（学校設定科目）

◆工業技術基礎

木材加工、軸組模型、測量、コンクリート実習の4つのショップで構成されています。5週×4ショップで1年間通して建築・土木の基礎基本を、実技を通して学習していきます。



木材加工実習

小椅子の製作を通し木材の組織を理解し、木工機械の安全な使い方、木工具の名称と使用方法、建築の木造軸組工法のほぞ、ほぞ穴加工を学び、技術を身につける。



軸組模型

木造の骨組み(構造)を学びます。また各部材の名称を学び1/40の模型を製作します。



測量実習

建設現場で必要となる測量機器の取り扱い、操作方法について学ぶ。また、測量技術検定2級の取得を目指す。



コンクリート実習

コンクリートの基礎知識を学びながら、実際にコンクリートを練り混ぜ、必要な試験を行い、供試体(コンクリートブロック)を製作し、強度を測定する破壊試験を行う。

◆都市製図

建築製図、土木製図の基礎基本を学びます。文字や線の練習を行い、建築製図と土木製図の図面を手書きしていきます。

建築製図→木造平屋建平面図、木造2階建平面図
土木製図→側溝標準図、街路標準構造図



◆都市工学（学校設定科目）

建築、土木の基礎基本学ぶ。座学形式で行われる授業で建築、土木の知識を深め建設分野を幅広く学びます。

◆現場見学会（校外学習）

建設現場を見ることにより、建築、土木分野を肌で感じてもらい実際に見て学ぶことができます。授業では伝わりにくい箇所や内容を学ぶことができます。

- ・建築、土木建設現場見学会





専門科目を深く学ぶ

2 2年生の主な授業

専門科目（工業）

- ◆都市実習
- ◆都市製図
- ・施工実習（共通実習）
- ・建築製図
- ・測量実習（共通実習）
- ・土木製図
- ・設計演習（建築専門）
- ・専門測量（土木専門）

◆都市実習

建築コース、土木コースに分かれて実習を行います。施工実習、測量実習は建築コース、土木コースともに受講します。(6週×2ショップ)、設計演習は建築コース受講者のみ(12週×1ショップ)、専門職量は土木コース受講者のみ(12週×1ショップ)年間通して3ショップの実習を行います。建築、土木それぞれ奥深く実技を通して学習していきます。



施工実習（共通）

3級鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
実技試験問題鉄筋組立用図面を見ながら、実際に組立てることによって、計測の仕方・図面の読み取る力（加工の含む）を身につける。



測量実習（共通）

測量機器を用いて、土地や建物の高低差を測定し、その測定データの計算方法を学ぶ。



設計演習（建築コース）

店舗併用住宅の設計を通じて、設計プロセスを学ぶ。
指定された敷地に自ら計画、立案し、設計技術を磨く。



専門測量（土木コース）

測量機器を用いて、学校敷地内にある基準点を測量する。また、その基準点から電子平板（タブレット型測量機器）を用いて、細部測量を行い、校舎配置図を作成する。

◆都市製図（建築製図）

建築製図を通して構造、寸法関係を詳しく学び、知識を深め技術の習得を目指します。

- ・木造2階建住宅（平面図、断面図、立面図 1/50）
- ・木造2階建住宅（平面図、断面図、立面図 1/30）
- ・鉄筋コンクリート構造（平面図、断面図、立面図 1/100）
- ・プレゼンテーションテクニック（建築雑誌トレース）など



◆都市製図（土木製図）

AutoCADを用いた土木製図を通して、土木構造物の構造、寸法等について学び、土木製図の基礎基本およびCAD操作を習得する。

◆インターンシップ（職業体験）



1年生、2年生の夏休みに希望生徒のみ、企業へ行き職業体験を行います。授業で学ぶだけではなく、実際に現場で学び、今後の進路選択の1つとして体験、経験をします。

◆進路探究（講座、実技）



都市工学科独自の取組みとして2年生で国・県・市や建設関連企業から建設業界に関する最新情報や建設技術者の魅力について学び、インターンシップに参加する。

土木・建築の応用

3年生の主な授業

専門科目（工業）

- ◆実習
 - ・模型実習（建築コース）
 - ・卒業設計（建築コース）
 - ・土質実験（土木コース）
 - ・施工実習（土木コース）
- ◆都市製図（CAD）
 - ※建築コース
- ◆都市防災
 - ※全科選択科目

◆都市実習

建築コースは模型実習と卒業設計で、隔週で授業を展開していきます。
土木コースは土質実験と施工実習で、隔週で授業を展開していきます。



模型実習（建築コース）

店舗併用住宅、卒業設計の模型製作を行う。図面だけではなく3次元で表現する技術を身に付ける。



卒業設計（建築コース）

敷地の選定から設計まで、自ら調べ計画、設計を行う。美術館、図書館、幼稚園の公共施設から1つ選び1年間かけて製作していく。



土質実験（土木コース）

土の密度や土に含まれる水の量などを測定する実験実習を通して、構造物を支える土の性質について学ぶ。



施工実習（土木コース）

建設現場で必要となる土木施工管理技士の資格取得を目標とし、現場の管理方法について学ぶ。現場で必要となる工事測量や張り設置などの実習を行う。

◆都市製図（CAD）

2次元CAD、3次元CADの操作方法を学ぶ。
AutoCAD（2次元図面）
Sketch Up（3次元図面）
Illustrator（プレゼン手法）
※PCを駆使した表現方法を学ぶ。



◆都市防災（学校設定科目）

高等学校では全国初となる「防災士養成機関」として認可を受け、阪神・淡路大震災の教訓を風化させず、次世代に伝承するとともに、今後起こりうる災害に備え、「防災・減災・縮災」に取り組み、「自助・共助・協働」を大切にした地域社会づくりに貢献できる人材を育てる。神戸市や地域防災コミュニティなどの機関と連携し、外部講師を活用した授業もあり、防災について幅広く学ぶことができる。



◆課題研究

少人数クラスでより専門的な高度な技術を学ぶ

- ・デザイン…ものづくりを通じた社会貢献活動
- ・建築デザイン…建築設計競技大会に参加
- ・リノベーションデザイン…空間デザイン、木材加工技術を学ぶ
- ・コンクリートカヌー…コンクリートカヌー大会への出場
- ・測量…測量競技大会への出場、測量技術検定1級の取得
- ・建設ものづくり探究…建設関連のものづくり
- ・神戸の街づくり…神戸の街、都市計画・開発・建設工事について学ぶ
- ・環境防災…防災普及啓発活動、その他地域の防災活動に参加
- ・家具デザイン…家具の設計、製作
- ・地域活性化…地域の活性化プロジェクトの計画、企画

※年度によって変更有

卒業後の進路

キャリアプランニング

- ◆ 卒業生囲む会
- ◆ 進路ガイダンス
- ◆ 面接練習
- ◆ 進路実績

◆ 卒業生を囲む会

都市工学科卒業した先輩に来ていただき、卒業後の様子を話していただきます。また在学中に考えたことや、先輩としてアドバイスをしていただきます。



◆ 進路ガイダンス

校内で行われる進路ガイダンスは大学側、企業側から学校に来ていただき、実際に話を聴きます。自ら質問し、将来の進路実現に向けて自分を見つめる機会となっています。



◆ 面接練習

履歴書の書き方から面接指導まできめ細かく一人一人の生徒に応じた指導を徹底しています。

高校3年間だけではなく、卒業後また大学進学後のことも考えて将来のキャリアビジョンを保護者、生徒と共に考えサポートします。



◆ 進路実績

〈主な4年制大学〉

- ・大阪工業大学
- ・大阪芸術大学
- ・大阪産業大学
- ・金沢工業大学
- ・京都美術工芸大学
- ・神戸学院大学
- ・摂南大学
- ・日本大学
- ・追手門学院大学
- ・大阪電気通信大学
- ・京都美術大学
- ・近畿大学
- ・神戸芸術工科大学
- ・千葉工業大学
- ・大手前大学
- ・富山大学
- ・島根大学

〈主な専門学校〉

- ・大阪建設専門学校
- ・京都建築大学校
- ・神戸医療福祉専門学校
- ・修成建設専門学校
- など

〈主な就職先〉

- ・東海旅客鉄道
- ・西日本旅客鉄道
- ・阪急電鉄株式会社
- ・西日本高速道路エンジニアリング関西(株)
- ・関西電力(株)
- ・神戸新交通(株)
- ・(株)CTIウィング
- ・西日本高速道路エンジニアリング関西(株)
- ・日本海工(株)
- ・寄神建設(株)

- ・MHI プラントエンジニアリング&コンストラクション(株)
- ・奥村組土木興業(株)
- ・関西建設工業(株)
- ・近畿日本鉄道(株)
- ・港建設(株)
- ・寄神建設(株)
- ・(株)村上工務店
- ・今津建設(株)
- ・(株)山田工務店

など

探究活動を通じて
コミュニケーション能力アップ!

課題研究 ってな〜に？

各自の興味や関心に応じて疑問に感じたことや深く追究してみたいことを通じて、各自でテーマを設定し、研究しその成果を発表するという内容の取り組みです。



- 専門的な知識の深化
- 問題解決能力
- 自発的、創造的な学習態度を育てる

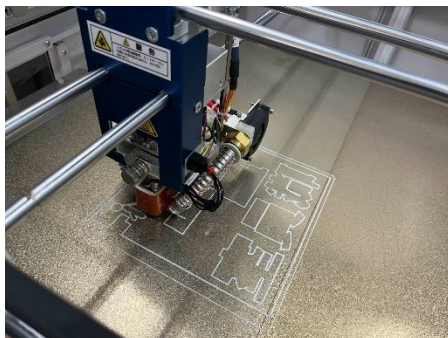
◆ 地域活性化プロジェクト

私たちの課題研究では、人の居場所を創出し、地域力が高まる好循環づくりを目的として活動を行っています。灘中央市場はまもなく100周年を迎える市場ですが、スーパーの台頭により人流が変化したことで、衰退の一途を辿っています。そこで、高校生の発想力や発信力を活用し、市場の認知度向上や人が訪れたいくなるキッカケづくりを目標として、市場でのイベント開催・看板の設置などの提案を行いました。イベントの開催では和紙を使用したランタンの作成・飾り付けを企画から実施・運営まですべて生徒自身が担いました。イベント当日は幼稚園児から高校生まで幅広く参加していただき、市場ににぎわいが生まれました。一度訪れただけでは地域活性化にはつながらないため、今後もこのようなイベント活動や市場に賑わいがうまれるキッカケづくりを継続的にを行い、子どもたちを見守り育てる地域環境づくりを実現していきたいと目指しています。



◆ 建築設計競技大会 & サインデザインプロジェクト

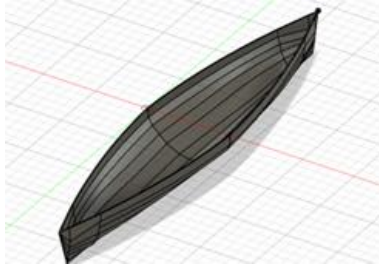
私たちの課題研究では、建築設計競技に参加し、設計技術の向上に取り組んでいます。また仮定の空間で設計するのではなく実際の敷地を選定し新しい建築物を提案します。またサインデザインを制作し、学校の活動をよりよくするために設計しデザインをしました。3Dプリンターを使用し、プレートを完成させました。



◆学校環境整備&コンクリートカヌー



私たちの課題研究では、学校の環境整備の活動とコンクリートカヌーの製作に取り組みました。学校環境整備では学校の敷地内にカーブミラーを設置し校内を安全に車が通れるようにしました。コンクリートカヌーでは2DCADでの設計図作成、噴水の計算をし、2DCADのデータをベースに、3DCADソフト「fusion360」で3Dモデルを作成。そのデータを活用し、3Dプリンターでカヌーの小型模型を作成。型枠組立3DCADのデータを木工NCルーターに送り型枠を切り出し、パーツを組み立て、型枠を作成。表面はベニヤ板で覆い、養生テープで補強しました。そしてコンクリートカヌー大会に出場しました。



◆環境防災 神戸の総合治水対策と地域における啓発

都市工学科では防災教育の先駆けとして 2015 年より兵庫県土木局総合治水課との連携事業を行ってきました。本課題研究は、県が行う防災対策の中でも総合治水対策に焦点を置き、地域の人々を対象にした防災・減災意識の向上を目指し、啓発活動をしています。

実際に起こりうる災害のリスクとさまざまな対策の効果を見る化した模型やパネルを作製し、展示会やイベント等に参加して、小学生やその保護者、全国の高校生や企業・団体に向け模型実験を行いながら災害のリスクと対策について説明をしています。

また、研究発表会や交流会などで全国の高校生や企業、団体と交流を深めたり、新聞社やテレビ局の取材で発信をしたりと、あらゆる場面で災害のしくみや防災の大切さを訴えます。災害に強いまちづくり、防災への意識向上に繋がるよう、専門性を持った工業高校生ならではの啓発活動に意気込んでいます。

協力団体：兵庫県土木局総合治水課



防災士の資格を取得し
地域の防災リーダーを目指そう

都市防災 ってな～に？

全国で唯一高校での
防災士養成学校

本校では、自助・共助・公助・協働、それぞれの分野に工業の技術やセンスを活用できる人材を育てるために、平成 30 年度から新たな神戸の防災教育として、工業の基礎知識を持った防災士の育成を始めています。

対象となるのは 3 年生で、選択科目の都市防災を選んだ全学科の生徒です。

生徒たちは普段学んでいる工業の各専門科目に加え、地震・津波・台風・豪雨・洪水・土砂・火災・火山・原子力などのあらゆる災害のしくみや、人命や建物、ライフライン、交通インフラなどの被害、災害情報、災害リスクマネジメント、事業継続計画、地域防災計画、地域自主防災活動、普通救命講習や災害時場面対応シミュレーションなどを神戸市建設局、またそのOB らで構成される土木の学校神戸の会、神戸市消防局、神戸市危機管理室などからも講師を招き被災経験と最新の科学技術やものづくりを関連づけて学びます。

被災地神戸でも復興と共に震災の記憶が薄れゆく中で、震災を知らない世代の高校生たちが市民の防災エキスパートである防災士の資格を取り、地域や企業で防災リーダーとして活躍することが今後の神戸の防災力を高めることに繋がります。さらには防災を通じて市民と企業と行政との橋渡し役になり“協働”に貢献することが期待されます。

◆都市防災の目的

阪神・淡路大震災の教訓を風化させず、次世代に伝承することは必要不可欠なことである。また、今後起こりうる災害に備え「防災・減災・縮災」に取り組む地域社会づくりのために、災害を科学的にとらえて危機を予測し、被害の拡大を防ぎ、早期復旧を図るためには工業の「技術・技能」が必要となる。

また、神戸市内の各地域や防災コミュニティにおける活動者の高齢化が問題視されている。そのなかで、防災やエンジニアの知識・視点を持った若い高校生防災士の育成は社会からも大変注目されている。そこで、高等学校で工業の専門学習を修得して、さらに防災知識を併せ持った「工業高校生防災士」を育成し、卒業後の進学先や就職先でそれらを発揮することで「地域の防災力向上」を目指すことを目的としている。さらに工業の専門学習に加えて確かな防災力を身に付けることにもつながる。それらを通じ、安全・安心・信頼できる高度なものづくりができる技術者の育成につなげることも目標としている。



◆実践の内容

- ・防災士養成カリキュラムによる防災士養成講座の実施と防災士取得
 - ・専門家による防災特別講義
 - ・市民救命士講習
 - ・救急法、応急法講習
 - ・災害シミュレーション演習

【専門家による防災特別講義】

- ・兵庫県警災害対策課
- ・国土交通省
- ・神戸市建設局
- ・神戸地方気象台
- ・神戸住環境整備公社



2年生でキャリア形成を学ぼう

進路探究 ってな～に？

建設業界の動向や仕事内容、最新技術を学ぶとともに、地元建設業の良さや地元に貢献するやりがいを知り、自分の進路やキャリアを考えていく授業となっています。出前授業では建設の仕事について、現場の雰囲気や心構えを学べ、また普段見ることのできない最先端技術に触れ、今後のキャリア形成において様々な知識を学べる授業となっている。

※神戸市建設協会、神戸市建築協会ならびに会員企業

◆出前授業の実施



土木・建築に関する企業の方にお越しいただき、働き方や仕事の内容、授業では学べない内容をお話していただき今後の進路選択の一つとして学んでいます。

また最新技術の紹介や体験などをさせていただき、レベルの高い学習をしています。

◆夏季インターンシップ

2年生を対象に市内の企業を中心とするインターンシップを実施しました。土木19名、測量設計8名、建築6名、造園1名の計34名(1年3名、2年31名)が参加し、延べ21社の企業にお世話になりました。

お世話になった企業の皆様にご心より感謝申し上げます。

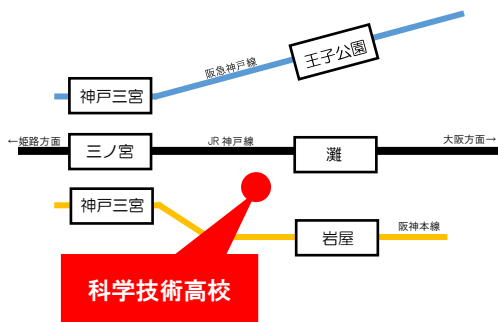
- ◆神戸市建設協会 連携事業分(土木8社)
北浦建設(株)、窪田工業(株)、日本海工(株)、
兵庫奥栄建設(株)、丸正建設(株)、港建設(株)
(株)山田工務店、(株)友興組
- ◆神戸市建築協会 連携事業分(建築4社)
今津建設(株)、関西建設工業(株)、
湊建設工業(株)、寄神建設(株)
- ◆神戸市測量設計協会 連携事業分(6社)
(株)ジャパックス、(株)新土木開発コンサルタント
日本技術サービス(株)、阪神測建(株)、(株)山本設計、(株)トクナガエンジニアリング
- ◆企業個別実施分(3社)
阪神園芸(株)、(有)匠弘堂、ヤマト工業(株)

2023 年度実施分



◆現場見学会&体験実習





◆交通機関◆

JR「灘」駅より 南西へ徒歩4分
 阪神「岩屋」駅より 北西へ徒歩6分
 阪急「王子公園」駅より 南西へ徒歩9分

神戸市立科学技術高等学校 都市工学科

Kobe Municipal High School of Science and Technology Urban Engineering

〒651-0072 兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目4番70号
 代表電話：078-272-9900 FAX：078-272-9919
 HP アドレス：<http://www2.kobe-c.ed.jp/kagi-hs/>